

私たちが新しい区長です
令和6年区長会

令和6年の各地区の区長さんが決まりました。松前町区長会長に仲島政夫さん(写真中)、副会長に金子知芳さん(左)と大西明彦さん(右)が選ばれました。



各地区の区長さんは次の通りです(敬称略)。

▶松前地区

行政区	氏名
南黒田	久保 義晴
北黒田	佐伯 満孝
宗意原	武井 浩二
新立	仲島 政夫
本村	三好 孝善
筒井	宮内 忠彦

▶北伊予地区

行政区	氏名
徳丸	長谷 隆弘
中川原	加藤 正和
出作	弓達 耕二
神崎	池内 光男
鶴吉	松田 治朗
横田	金子 知芳
大溝	升田 年紀
永田	渡部 一幸
東古泉	稲垣 良夫

▶岡田地区

行政区	氏名
大間	栗坂 信之
上高柳	大内 清俊
恵久美	喜安 興
昌農内	藤井 秀治
西高柳	大西 明彦
西古泉	今木 芳夫
北川原	茂川 俊英
塩屋	岡本 明

町内のスポーツ少年団が交流
令和5年度松前町スポーツ少年団交歓会

「令和5年度松前町スポーツ少年団交歓会」は3月2日、松前公園で開催され、町内全てのスポーツ少年団から217人の団員が参加しました。

交歓会では、ソフトボールやバレーボールなど計4種類の交流試合が行われ、団員たちは日頃の練習の成果を発揮しながら他チームとの交流を深めていました。

同日には、卒団証書授与式も行われ、41人の6年生が卒団証書を受け取りました。



無病息災を願って
大間地区「たまみね祭り」

3月13日、大間地区の伝統行事「たまみね祭り」が行われました。

毎年3月13日に住民が大般若経の入った経櫃を担ぎ、「大般若、大般若」の掛け声で地区内を回ると、住民が家から出て来て経櫃の下をくぐります。元々は、地区で多発した不審火を鎮めるために行われていましたが、現在は厄よけや無病息災が祈願されるようになりました。

住民は、次々に経櫃の下をくぐりながら無病息災を願っていました。



たくさんの思い出をありがとう
卒業式

町内の小学校では3月22日に、中学校では3月15日に、卒業式が行われました。卒業生は思いの詰まった学舎を巣立っていきました。

※ 町立の保育所では3月19日に、幼稚園では3月21日に卒園式が行われました。



1_胸を張り入場(北伊予中) 2_名前を呼ばれて元気よく返事(松前小) 3_卒業証書授与(北伊予小) 4_答辞を述べる。最高の仲間、先生、家族に「ありがとう」(松前中) 5_退場。春から中学生(岡田小) 6_最後の学級活動。涙を流しながら恩師との別れを惜しむ(岡田中)



古城幼稚園として最後の卒園式
古城幼稚園卒園式

昭和41年に開園してから58年間、2,415人もの園児の巣立ちを見守ってきた古城幼稚園は3月21日、最後の卒園児を送り出しました。

卒園式では、卒園児13人にそれぞれ修了証書が手渡された後、在園児から卒園児へ手作りの王冠が贈られ、互いに感謝の気持ちを伝え合いました。

令和6年度は松前幼稚園舎の改修を行うため、古城幼稚園舎を利用して、松前幼稚園を運営します。



率先した奉仕活動で6人を表彰

伊予ロータリークラブ「善行生徒表彰」

奉仕活動を率先して行った中学校2年生を表彰する伊予ロータリークラブの「善行生徒表彰」は2月21日、ウェルピア伊予で行われました。

被表彰者と表彰の主な理由は次の通り(写真左上から)。

- 上岡愛海さん(松中) … 人権問題に真摯に取り組む
- 木村空晴さん(松中) … 人権問題に真摯に取り組む
- 大西悠生さん(岡中) … 部活を休まず熱心に取り組む
- 小泉絢生さん(岡中) … 部活で練習に励み各種大会で入賞
- 大澤季依さん(北中) … 豊かな発想力で積極的に行動
- 稲田遥空さん(北中) … 学級委員としてより良い学級づくりに貢献

落ち着きと安らぎのある新斎場完成
聖浄苑改築事業定礎式および開場式典

「伊予地区広域斎場聖浄苑改築事業定礎式および開場式典」は2月29日、聖浄苑で開催されました。

旧施設の老朽化などにより、令和3年2月から敷地内で建て替え工事が進められ、6年2月に本体工事が完了。鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積約1,650㎡で、落ち着きと安らぎを感じることのできる新斎場は、3月1日から利用されています。

今後は、付帯工事を行い、7年3月に工事完了予定です。

- ①完成した聖浄苑
- ②記念のテープカット



松前町農業機械士会が優勝

愛媛県農業機械安全利用技能競技大会

松前町農業機械士会(池内力会長他7人)は2月21日、愛媛県立農業大学校・機械研修場で行われた愛媛県農業機械安全利用技能競技大会に出場しました。

この大会は、農業機械士の技能向上と安全利用の推進を目的に農業機械の操作技術を競うものです。同会は、団体の部のほか、けん引運転操作の部で河内豊和さん=西古泉=が優勝しました。



サンタ株式会社に感謝状贈呈

ハセツパー水寄付

サンタ株式会社(橋田好弘代表取締役)は令和2年5月から6年3月まで毎月、ハセツパー水を町に寄付しました。このご厚意に対し、3月18日、町から感謝状を贈呈。

寄付いただいたハセツパー水は、感染症予防のため、町有施設の除菌に使用しました。

感謝状を受けた宮部浩禪業務部長は、「松前町のお役に立てたことをうれしく思います」と話していました。

地域社会の活性化を目指して

明治安田生命保険相互会社との包括連携協定

松前町と明治安田生命保険相互会社松山支社(丸山博史支社長)は3月18日、「包括連携協定」を締結しました。この協定は、町民サービスの向上と地域社会の活性化を図るために締結されたもの。今後は互いに連携し、地域課題に迅速かつ適切に対応していきます。

また、同日、同社は町に20万7,500円を寄付しました。目録を受け取った田中町長は、「町のために有効に使わせていただきます」と感謝状を贈りました。



アニメで日本の偉人に親しんで

藤井財団「世のため人のためアニメシリーズ」寄付

公益財団法人藤井財団(藤井勝典代表理事)は2月21日、同財団が制作した偉人のアニメDVD12作品を町放課後児童クラブ3カ所へ寄付しました。これは、子どもたちの学習に役立ててもらおうと、同財団が全国の放課後児童クラブへ順次贈っているもの。

田中町長にDVDを手渡した四国方面業務担当の藤井康弘さんは、「子どもたちが日本の偉人に興味関心を抱くきっかけになれば」と話していました。



継続した取り組みで健康に

健康大賞

令和5年度「健康大賞」の受賞者が決まりました。「健康大賞」とは、健康づくりで貯めたポイントを商品券に交換できる、「まさき健康ポイント事業」に参加した人のうち、成果や獲得ポイント数などを総合的に評価して、最も優秀な人を表彰するものです。受賞者と成果は次の通りです。

【受賞者】
辻江夏海さん=西古泉= (22歳)

【成果】
通学方法を電車やバスから自転車に変更し、減量に成功。体が軽くなったことで、運動するのが楽しくなり、朝食後のウォーキングが日課になった。

自慢のパフォーマンスを披露

第2回演芸フェスティバル in まさき

町文化協会主催の「第2回演芸フェスティバル in まさき」は2月25日、文化センターで開催されました。

計14組が出演したフェスティバルでは、日本舞踊や吟詠のほか、コーラス、ダンスなど幅広い年代がバラエティに富んださまざまなパフォーマンスを披露。

会場にきた多くの人々を魅了し、楽しませていました。





テントでわくわく、ドキドキ

松前ひまわり保育所「キャンプごっこ」

3月7日、松前ひまわり保育所で、園児のリクエストにより「キャンプごっこ」が行われました。

当日は朝から、大きなテントが園庭に登場。園児は目を輝かせながら、テントの中で絵本を読んだり、ソファや机を運んでおままごとをしたりと楽しい時間を過ごしました。この日は、特別に午後のおやつをテントの中で食べた園児たち。いつもと違う体験にわくわく、ドキドキが止まらない1日となりました。

- ④テントの中で絵本を楽しむ
- ⑤思い思いの時間を過ごす園児




ホッケーの楽しさを体感

エンジョイホッケー大会

「エンジョイホッケー大会」は3月16日、松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場で開催され、30チーム128人が参加しました。

初心者でも安全に楽しめるよう、ウレタン製のスティックとプラスチックのボールおかさきゆいを使って行われた同大会。参加した松前小学校1年生の岡崎結衣さんは、「ホッケーをするのは初めてだったけど、6点もゴールできてうれしかった」とほほ笑んでいました。

- ④「みんなでホッケーしよう！」
- ⑤夢中でボールを追いかける




青空の下で全力プレー

中学生ホッケー交流大会「まさきカップ」

第5回中学生ホッケー交流大会「まさきいすカップ」が3月9日、町と松前ライオンズクラブ（和泉みけんや健弥会長）の共催で開催されました。

本大会は、ホッケーのまちづくりを進めるとともに競技力向上を図るため、平成31年から開催しているもの。男女16チームが参加し、松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場で熱戦を繰り広げました。

交流大会の結果は、次の通りです。

【中学男子の部】

- 1位 HiroshimaBuenaVistaHC ⑦（広島県）
- 2位 郡山南中学校（奈良県）

【中学女子の部】

- 1位 郡山南中学校（奈良県）
- 2位 松前ホッケークラブ



- ④ゴールを狙う
- ⑤円陣で士気を高める
- ⑥ベンチから熱い声援